

# ここに住んでいる。ここで働いている。地域を守りぬく決意が私たちにあります。ただいま百日夜警を実施中！

明科地域明科区を担当する市消防団第6分団第1部の火災予防活動（百日夜警）が、開始から百目を迎えるようとしています。この夜警は昨年12月20日に始まり、大みそかと元旦を除き4月1日まで100日間、毎日欠かさず行っています。今年も団員21人が交代で約3kmの道のりを1時間ほどかけて巡回しています。毎晩、午後9時半と11時半の2度、区内全域を歩いて巡回し、異常がないか確認します。

昨年は、この夜警が始まってから百周年の節目の年でした。百日夜警の始まりは、明治39年までさかのぼります。当時、東筑摩郡中川手村の中心部で、沿道の家屋を飲み込む大火が起きました。これを契機に、明科消防組が結成され、翌年の明治40年から夜警が始まりました。現在まで脈々と受け継がれている活動を取材しました。

## 頼むぞ、この先百年も！

斎藤 博亮さん（副分団長）

3月末でいよいよ消防団を退団する時が来ました。自分たちの地域は自分たちで守るといふ思い一心で活動してきました。今思えば大きな火事もなく良かったと思います。少し寂しい思いがあります。多くの仲間ができたことが財産となりました。今月に入り新しい団員が加入となりました。定員には達しませんが、フレッシュな新入団員に恵まれ、新年度がスタートできそうです。後輩には、祖父から父、父から私たちへと受け継がれてきたこの地域の伝統を、さらに百年先までつなげて欲しいと願っています。



▲午後9時半過ぎ、懐中電灯と鐘を持って、夜警に出発！



▲途中で備え付けられている警ら箱。全部で16カ所にあります。



◀日誌に目をとおり回収します。詰め所で異常の有無を記載し2度目の巡回の際に戻します。

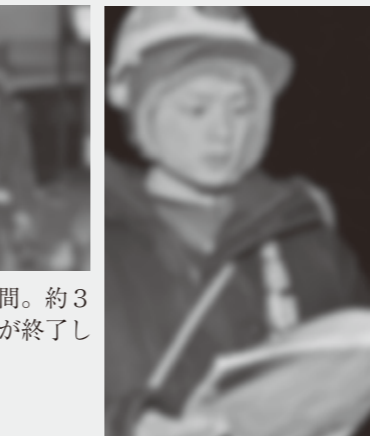


◀夜警は歩いて廻ります。狭い路地裏も細かく歩きます。

## 子どもの頃から鐘の音を聞いていました

河西 翔太さん（団員）

入団してから5年が経ちました。始めはだいたい戸惑いましたが、次第に仲間との付き合いが楽しくなりました。昔から鐘の音を聞いてきました。昔から自分がその鐘を鳴らすことになるとは思っていません。まだまだ先の長い活動になります。地域のため、みんなのために頑張ります。



▲歩き始めてから1時間。約3km歩き、1度目の夜警が終了します。



◀料理自慢の班長が作る賄い料理。今夜は「チヂミ」です。



▲昨年、長年の功績が称えられ、県と市からそれぞれ功労賞を受賞しました。

## 消防団の皆さん頑張れ！

高原 研一さん（明科中川手）

百日夜警と言えば、私自身も、若き日の頃に消防団の一員として活動したことを思い出します。幾度となく火事場も経験し、火の恐ろしさを十分承知しています。この地に店を出してから23年間、商売柄、常に火を使うので、百日夜警があるこの時期はいつも安心して商売ができます。鐘の音が店の前を通るたびに消防団の皆さんのご苦労に感謝しています。これからも応援します。



▼2度目の夜警の時間がきました。



◀仲間とのひと時、話が弾みます。



皆さん火の元をお確かめのうえ、おやすみなさい。

特集◎ 今考えてほしい防災のこと

■消防団に関するお問い合わせ 堀金総合支所内危機管理室（TEL 72・6769 FAX 72・6739）

### ～地域の防災活動に貢献している市内認定事業所一覧表～

(株) オートテック	エムオー原図	(株) 山本組
共和アスコン (株)	日東建設 (有)	(有) 会田建設
あづみ野テレビ (株)	(有) 沖電気工業	(有) ニキ設備工事
(有) ナカジマ工房	塚田不動産 (株)	遠藤建設 (株)
水上製作所	(株) インターノースあづみ野	(株) 川上産業
柴商会	安曇野スイス村	(有) タカギ
(株) 横澤興業	(株) 佐原建設	(有) 山一造園
中央化工 (有)	日管建設 (株)	(有) 近藤造園
(有) 赤羽電気商会	山崎建設 (株)	(有) 中部エンジニア
明科建材 (株)	(有) 林屋組	(有) 堀内組
(株) 振興建設	(有) 大久保自動車	(有) アルプス造園
(有) ミサワ測量	(株) 寿建設	(有) アズミ造園
(株) ワークメイト	(株) 関組	(株) 中澤組
(株) 横内組	(有) 小倉建設	富士開発 (株)
(株) 傳刀組中信支店	(有) 赤羽建設工業	(有) 竹内土建
(株) アズミエンジニア安曇野支店	原田建設	

(09.3 現在 46 事業所 認定順・敬称略)

## 募集 あなたの若い力を消防団活動に

市の消防団員は、かつて、自営業者などが中心でした。しかし、現在は就業形態の変化により、約8割が被雇用者（サラリーマンなど）などが占めています。また、団員数も毎年減少傾向にあり、全分団ともに定員に達していない状況です。このようなことから、昼間の消防力の低下が心配されています。地域の皆さんと企業・事業所の積極的な支援がなければ、消防活動はもとより、災害の時に必要不可欠な団員数が確保できないという現状です。

今月に入り、新入団員の加入を勧めるため、消防団員が各家庭を訪問しています。地域の安心安全を守るため、あなたの若い力を消防団活動に活かしてみませんか。

## 消防団協力事業所表示制度

応援 私たち事業所は消防団を応援します！



消防団協力事業所に交付される表示証

市では従業員の3%以上が消防団員として入団し、従業員の消防活動について積極的に配慮している事業所や、災害時に資機材などを消防団に提供できる事業所などを、地域の防災活動に貢献している事業所を「消防団協力事業所」として認定し表示証を交付しています。消防団協力事業所表示制度について詳しくは、市ホームページをご覧ください。